

実践事例 1

発語がみられるようになった児童への学校祭ステージ発表の支援			
キーワード	生活単元学習、学校祭、カメラ（動画）、i P a d タッチャー、能動的動作		
学年 領域・教科	小学部5年 生活単元学習	単 元 名	がっこうさいをたのしもう
使用したアプリ等の概要			
アプリ名等	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ（動画／i P a d 標準搭載） ・ i P a d タッチャー <li style="text-align: right;">・ 箱型スイッチ 		
このアプリで できること	<ul style="list-style-type: none"> ・ i P a d 標準搭載のカメラは、写真撮影、動画撮影ができる。 ・ i P a d タッチャー、箱形スイッチは、i P a d を操作するための外部スイッチである。 		
授業の概要			
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発語が見られるようになった児童が、学校祭ステージ発表で、能動的に自分の役割を果たすことができるようにする。 		
I C T 活用の 概要	<ul style="list-style-type: none"> ※朝の会の司会などで、あいさつ言葉を教師が声掛けすると、言語不明瞭ながら、発語しようとするようになってきた児童が対象である。 ・ 学校祭ステージ発表において、能動的に自分の役割を果たすことができるように、事前に i P a d のカメラ（動画）に事前に話したせりふを録音しておき、スイッチを押すことにより、発表できるようにする。 		
児童生徒の変容と授業の評価			
<ul style="list-style-type: none"> ① i P a d を使用しなかった際に考えられる児童生徒の様子 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の役割を演じる場面で、能動的な動作ができなかったと思われる。 ② i P a d 使用時の児童生徒の様子の変化と授業の評価 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が演じる場面になると、スイッチの方向に手を伸ばして、自分の声を再生しようとする動作が見られた。 ・ 本児の手前の机上にスイッチを、後に i P a d を設置したため、スイッチではなく音声が出る i P a d に手を伸ばそうとする様子が見られた。 ・ 今後は、i P a d とスイッチの位置の再検討などの工夫を行っていきたい。 			